

「税を大切に使う」

久喜市立菖蒲南中学校

三年

小林 凌こばやし りょう

今年になって流行したコロナウイルスが最近の一番の出来事だと思います。初めは一部の県だけだったけれど今では東京都や大阪府を中心に全国まで広がってしまいました。そこで問題になっていることはコロナウイルス感染の対策のためのお金、税金の使い方だと思います。

僕は今まで税についてくわしく知らなくて買い物をしたときに払う消費税が一番身近な税だと思っていました。しかし、最近学校で使っている教科書や机、道路の補修、そして医療などいろいろな身近な所でも税金が使われていることが分かってきました。こんな僕でも、今回のコロナウイルスの税には興味をもちました。

それは、必要なところにお金が使われていないことです。僕は税金というのは必要なものだから僕たちは消費税などとして納めて必要などころに使われているのだと思っていました。それが今回は政府が配布した布マスクに使われていました。布マスクが配布されたことでマスクが手に入らないことが改善されたり、布製なので繰り返し使えたり良いこともあると思うけれどサイズが小さいことや布製でもウイルスは防げるのか不安だと思うことから使っていない人が多いようです。しかし、政府は布マスクを必要としていて配布に多額の税金を使っていることに驚きました。また、汚れや穴が開いている不良品があったため再配布したこともお金が発生している僕は無駄なことに税金を使っていると思えました。今援助してほしいところはたくさんあると思います。例えばコロナウイルスの影響で休業しなければならなくなったことやお客さんが来なくなってしまうことで営業が困難になってしまったお店やコロナウイルスに感染してしまった人の看護や感染しているか調べられる検査など命を懸けて診断している医師や看護師、病院に援助をするために税金を使うことが一番大切だと思います。不良品の多い布マスクの配布でお金を使うよりも今困っている人や最前線にたつて多くの人を救ってくれている人に使うほうがみんなの気持ちもうれしくなり支え合っているように思えます。病院では二十四時間コロナウイルスに感染してしまった人に向き合っているので休日があつたり、医療に十分なお金をかけることができたりすれば少しでも安心して心に余裕をもって働くことができると思います。

僕は今まで税金についてくわしく知らなかったけれど今回のコロナウイルスのこととお金の使い方について考えることができました。今必要だと思っている人にも使うことが大切だと思いました。また、僕もこれから大人になっていくので税についてはおつとくわしくなりもつと良いお金の使い方をしてほしいと思いました。